

日本では2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっています。5つのがん（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）は早期に発見すれば多くの方が助かると言われています。大切なのがん検診を受けることです。NCRけんぽでは国が推奨している5つのがんの検診を実施しています。

「NCRけんぽの健診で受けられるがん検診

健康診断で肺・胃・大腸がんは無料で受けられます。子宮頸がん・乳がんは補助金を支給しています。対象となる年齢と性別は以下の通りです。

<無料>

肺がん(胸部X線検査(レントゲン))	全員
胃がん(上部消化管X線検査(胃部バリウム))	35歳以上
大腸がん(便潜血(2日法))	35歳以上
※年齢で該当する健康診断に NCRけんぽ標準検査項目として含まれています。	

<補助金支給>

子宮頸がん(マンモグラフィー又は超音波エコーのうち1つ)	女性全員
乳がん(細胞診、内診、問診、視診)	女性全員

「がんの死亡率を下げる検診

がんによる死亡を防ぐためには、がんにかからないようにすることが重要です。がんは遺伝するといわれていますが、実は、遺伝によるがんは5%程度と少なく、むしろ、喫煙、食生活及び運動等の生活習慣が原因である方が多く、これらに気をつけて発がんリスクを下げる必要があります。しかし、発がんリスクを下げるため生活習慣の改善に心がけたとしても、がんにかかるとはなりません。そこで重要となるのが、定期的ながん検診です。

「早期の段階で発見することが大切

医学の進歩等により、がんは、現在、約6割の方が“治る”ようになりました。特に進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で治癒します。従って、そうしたがんを“初期”の段階で見つける「がん検診」は、がんの死亡率を下げるのに非常に有効だと考えられます。

「がん検診、がんについての情報

がん検診やがんについては正しい情報を知ることがとても大切です。以下のサイトは、信頼できる情報となります。参考にしてください。

●がん情報サービス「国立がん研究センターがん情報サービス」

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

●東京都 #女子けんこう部

女性の乳がん、子宮頸がん、大腸がんについての情報

<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/joshi-kenkoku/>



「がん検診の結果で要精密検査となった場合

がん検診を行って、“要精密”の判定があった場合は速やかに健康診断結果を持って医療機関を受診してください。

要精密となってもがんの確定というわけではありません。不安な気持ちになりますが、

放置することで手遅れになりかねません。検診で早期発見された人は治癒率も高くなります。自覚症状が出てからではなく早期発見、早期治療が大切です。

参考：がん対策推進企業アクションホームページ



前回の健康情報だよりを見逃した方こちらからご覧いただけます。

◆健康情報だより◆ Vol.5 生活習慣の改善は何から始めますか？

<https://www.ncrkenpo.or.jp/UploadedFiles/20231019.pdf>

■発行：日本N C R健康保険組合 HP <http://www.ncrkenpo.or.jp>

■住所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2

■発行日：2023年10月25日

■お問い合わせ

・ Mail HIA.JP@ncrkenpo.or.jp ・ Tel 03-5244-9800 ・ Fax 03-5244-9383.

Copyright(C)2023日本N C R健康保険組合 All Rights Reserved.